「応援隊事業」実施報告書(複数実施)

HP掲載用

団体・企業等名	国立曽爾青少年自然の家

実施日時、実施学校名、実施場所、対象学年、参加児童・生徒数は、一括して別紙（次ページ）に記載

★応援隊事業の内容

支援形態	出前授業	見学/校外学習	資料提供	その他（　　）			
テーマ	体験キャラバン隊　～体験の機会を子どもたちへ～						
対応できる主な内容	①紙芝居等による「早寝・早起き朝ごはん」の啓発活動 ②園の周りの自然環境体験活動 ③遊んで身につく36の基本的な動きをとり入れた運動遊び						
	備考						
その他特記事項	対応教科等						
	分野	安全	科学（理数）	金融・経済	国際理解	自然・環境	食育
		スポーツ・運動・自然体験	福祉・ボランティア	文化・伝統・芸術	その他		
	必要経費（謝金は除く）	不要	要				
	旅費（講師・スタッフ等）	不要	要				
	土曜日の活動	可	不可	応相談			
	対象（学年の限定等があれば）	幼稚園・認定こども園	小学校（低学年）	中学校	高等学校	特別支援学校	
	対象地域	北西部	五條・北部吉野	北東部	南西部	南東部	

★応援団事業の感想

※次の内容について、番号でお答えください。

① そう思う　② ややそう思う　③ どちらでもない
④ ややそう思わない　⑤ そう思わない

1 園児・児童・生徒は楽しそうに活動していた。 ①

2 園児・児童・生徒と企業等関係者のコミュニケーションは、うまくとれていた。 ①

3 学校との連携・協力はスムーズにいった。 ①

4 事業を行うのに、適した場所であった。 ①

5 事業内容は、対象園児・児童・生徒に適していた。 ①

6 「応援隊ネットワーク」への登録、あるいはメニューフェア以降、依頼件数は増えた。

7 その他（感想・要望）【任意】

事前打ち合わせの際、それぞれの園や所のコロナウイルス感染症対応について確認し、それに準じた対応を行った。活動内容については、手をつなぐ、タッチするなど子どもたちが近づいたり、接触したりすることを避けるようなものを考え実施した。

8 写真【任意】 ※HPに掲載可能なもの

実施実績一覧

実施日	実施学校名	実施場所	対象学年	参加児童・生徒数	実施内容（簡単に）
令和2年 11月15日	曽爾村立 曽爾保育園	国立曽爾 青少年自然の家	全園児と 保護者	56名（親子）	「遊んで身につく36の基本的な動き」をとり入れた運動遊びを実施した。
令和3年 2月10日	宇陀市立 榛原幼稚園	宇陀市立 榛原幼稚園	全園児	84名	〃
令和3年 2月12日	宇陀市立 菟田野こども園	宇陀市立 菟田野こども園	全園児	31名	〃
令和3年 2月17日	宇陀市立 室生こども園	宇陀市立 室生こども園	4～5歳児	31名	〃
令和3年 3月15日	宇陀市立 榛原東幼稚園	宇陀市立 榛原東幼稚園	3～4歳児	28名	紙芝居等による「早寝・早起き・朝ごはん」の啓発活動を実施した。
令和3年 3月16日	宇陀市立 大宇陀こども園	宇陀市立 大宇陀こども園	3～4歳児	64名	「幼児の自然環境を活かした運動遊びプログラム」に基づいた体験活動の実施した。
令和3年 3月22日	宇陀市立 榛原北保育園	宇陀市立 榛原北保育園	2歳児、5歳児	35名	「遊んで身につく36の基本的な動き」をとり入れた運動遊びを実施した。
令和3年 3月23日	宇陀市立 榛原北保育園	宇陀市立 榛原北保育園	3～4歳児	42名	〃

※必要に応じて行数を増やしてください。